

平成27年7月19日  
今週のベストショット



青松園A 雁ノ巣ライナーズ 対 ソルトベイスターズ戦  
久しぶりに登場した中村健一遊撃手の広い守備範囲が光った。

写真：塩浜ジャガーズ 橋村明浩

青松園A ライナーズ毎回得点で快勝！

雁ノ巣ライナーズ (5勝1敗)	2 1 1 1 1 1 4	1 1	有馬○ー岡村
ソルトベイスターズ (7敗)	0 0 0 0 0 0 0	0	中村(耕)●ー酒井

2BH：久保田3、明瀬航2（雁ノ巣）

雁ノ巣ライナーズは先頭の明瀬旭選手がいきなりバント安打で出塁すると、すかさず送りバントで二塁進塁、三番国崎選手のレフトへの適時打で先制点を挙げると、五番久保田選手の左翼線二塁打で追加点をもぎ取る。対するソルトベイスターズも先頭の八柄選手がライト前で出塁すると、犠打で二塁へ送るものの後が続かず、初回無得点に終わる。二回表ライナーズは内野安打と失策を足掛かりに1点を加えると、三回には久保田選手の右中間への二塁打、四回は失策、五回にも久保田選手の一塁線へのこの試合三本目の二塁打で1点ずつを加え、ソルトベイスターズを圧倒する。ソルトベイスターズも反撃を試みるが、四番中村選手の二安打と、途中出場の真弓選手の内野安打に迎えこまれ、きっかけがつかめない。毎回の7得点を挙げていたライナーズは、残り時間も後僅かになった七回、一挙4点を挙げ、この試合にとどめを刺した。有馬投手の好投と、犠打を除く全打席で出塁した一・二番、3本の二塁打を放った五番、二打点の七番、代打日野選手の安打など、ライナーズにとって会心のゲームとなった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真：橋村明浩）



ソルトベスターズ先発、中村投手。



一回表、ライナーズ先頭の明瀬旭選手のバント安打。



ライナーズ二番、明瀬航選手の送りバント。



ライナーズ五番、久保田選手（背番号10）の二塁打。



二回表、ライナーズ二番、明瀬旭選手のレフト前。



危ない！



抜かれた！ソルトベスターズ森一塁手。



バント、カモン！ライナーズ池内（父）一塁手。



背番号10が同じです。



縁の下の力持ち。



盗塁を決めるライナース明瀬旭選手。



石井二塁手と森一塁手の大人な一二塁コンビ。



ソルト中村健一遊撃手のファインプレー！



初打席、初安打、初打点！

### 青松園B 打線爆発のホーネッツ！昨年の雪辱を果たす。

三苦ホーネッツ（6勝1敗0分）20311 7 矢野○ー前園

奈多サンデーズ（4勝2敗1分）00300 3 塚本●ー長濱

HR：今田、稲葉（三苦ホ） 3BH：永島2（三苦ホ）秋山（奈多サ） 2BH：永島（三苦ホ）宮口（奈多サ）

盗塁：長濱、野田、宮口（奈多サ）

ここまで5勝1敗の三苦ホーネッツと4勝1敗1分けの奈多サンデーズというここまで好調な両チームの対決は初回から動いた。ホーネッツは二番稲葉選手がセカンドへ強烈な当たりを放ち出塁すると三番矢野選手が技ありの二塁打で一死二三塁とし、五番今田選手のタイムリーで2点を先制する。その裏ホーネッツ先発矢野投手は一人ランナーを出したものの後続を抑えて上々の立ち上がりを見せる。二回は両チーム無得点で迎えた三回の

ホーネッツは二番稲葉選手、三番矢野選手の連続バントヒットでチャンスメイクすると五番今田選手のホームランで3点を追加する。これに負けじとサンデーズは、八番宮口選手のヒット、一番川上選手の四球から二番野田選手のセンター前タイムリーで1点を挙げ、さらにホーネッツのフィルダースチョイスの間に二人ランナーが帰り合計3点を返す。しかしこの日のホーネッツ打線は絶好調だった。四回表、稲葉選手のソロホームラン、五回は七番永島選手のタイムリー二塁打で1点を取り試合を決めた。この試合ホーネッツは、5インングで11本のヒットを集める打線の好調を見せた。特に七番の永島選手は一、二打席ともに三塁打、三打席目もあわや三塁打かという大きな当たりの二塁打を放つ大活躍を見せた。またこの日ホーネッツの八番は久々の出場となる朝川選手。本人曰く6年ぶりの先発出場だったそうだ。サンデーズも敗れはしたが、リーグ屈指の俊足を誇るホーネッツ1番山崎選手に対しては積極的な前進シフトを敷くところやフィルダースチョイスの間に2人生還するなどスキのない走塁はさすがリーグでも上位にいるだけのことはあると感じた。私のチームでも是非参考にしたいと思った。(記事、写真:ブルーマーリンズ 井手翔一郎)



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



サンデーズ強力打線を3点に抑えたホーネッツ矢野投手。



一回表、ホーネッツ五番今田選手のタイムリーで二者生還。



三回表、2本目の三塁打を放つホーネッツ七番永島選手。



三回裏、タイムリーを放ったサンデーズ野田選手。



四回表、自身のHRで生還するホーネッツ稲葉選手。



五回表、意地の三塁打を放ったサンデーズ秋山選手。



今日のヒーロー達(右から今田選手、稲葉選手、永島選手)。

### 奈多グラウンド 三苦三球会が接戦を制す！

新町パイレーツ (4勝3敗) 000010 1 吉田●-桐島

三苦三球会 (5勝2敗) 00012X 3 吉留○-藤澤

3BH: 牟田(新町パ) 盗塁: 八坂(新町パ)

新町パイレーツは初回、いきなり相手失策や四球などで一死満塁とチャンスを掴むが、三球会先発吉留投手の前に得点はならず。その裏、三球会も一番藤澤選手が上手くレフト前に弾き返し出塁するが、二番浜口選手の強烈なピッチャーライナーをパイレーツ吉田投手が見事グラブに収め、一塁へ素早く送球。こちらもダブルプレーでチャンスを逃した。パイレーツは二回裏にも二死から砂田選手や八坂選手の安打などで満塁のチャンスとなるが、ここでも得点ならず、投手戦が続く。試合が動いたのは四回裏。三球会は一死二塁の場面、キャッチャーの悪送球から1点を奪取。次のイニング、何が何でも得点をするという気迫あふれるパイレーツ。二死ながらも牟田選手のレフト線への三塁打を放ち、吉田選手の意地の内野安打で1点を返し、試合は振り出しに戻る。しかし、その裏三球会は内野安打を含む三者連続安打で満塁とすると、四球とライトへの犠牲フライで2点を加点し、接戦に終止符を打った。(記事、写真: 三苦フレンズ 肥喜里一征)



4安打1失点完投勝利の三球会吉留投手。



新町パイレーツの吉田投手。



一回裏、強烈なピッチャーライナーを掴む吉田投手。



二回表、ライトへ弾き返した砂田選手。



二回裏、セカンドゴロを上手く捌く白岩選手。



三回裏、ナイスフィールディングの八坂選手。



四回表、鋭い三遊間ゴロを捌く好プレーの大津選手。



五回表、レフト線へ三塁打を放つ牟田選手。



五回裏、しぶとく四球を選ぶ藤澤選手。



五回裏、犠牲フライでタッチアップを図る渡辺選手。

## 雁レク軟式10 痛恨のトンネルも・・・何とか逃げ切り

奈多クラブ (3勝2敗2分) 001020 3 今林(瑠) ●一馬場口

レッドサンデーズ (2勝5敗) 00031× 4 江口○ー荒口

HR: 今林(瑠) (奈多ク) 2BH: 壱岐(レッド)

序盤は両チームとも静かな立ち上がり。先制点は三回表、奈多クラブの一番今林(瑠)選手のレフトオーバーのホームランで始まった。更に一死後、三番今林(祐)選手のセカンドへの内野安打と四番馬場口選手のレフト前ヒットでチャンスを作るも後続が倒れこの回1点止まり。レッドサンデーズの反撃は四回裏、三番神田選手がレフト前ヒットで出塁すると四番八島選手が鋭いピッチャー返し。しかしここは奈多クラブのピッチャー今林(瑠)投手のファインプレーでランナーが入れ替わり一死一塁。続く五番前田選手がライト前ヒットで一死二塁。六番荒口選手が倒れ二死となり、ここまでかと思われたが七番土師選手、八番壱岐選手、九番稲又選手の三連打でこの回一挙3点を奪い逆転に成功する。流れはレッドサンデーズ!しかし五回表、奈多クラブの攻撃は一番今

林（瑠）選手。粘ってレフト前ヒットで出塁すると、一死後三番今林（祐）選手もレフトへのヒット。続く四番馬場口選手への期待が高まると思った矢先、何とレッドサンデーズのレフト前田選手がこの打球を痛恨のトンネル！！打った今林（祐）選手もホームインして3-3の同点に！このまま一気に行きたかった奈多クラブだったが、レッド江口投手が踏ん張った。五回裏、レッド二死二塁から七番荒口選手のセンター前をもたつく間に神田選手が返り勝ち越すと、最終回奈多クラブの攻撃を三人で抑えたレッドサンデーズが、粘り勝ちで二連勝を収めた。（記事・写真：奈多 フェニックス 太田敏治）



投打に孤軍奮闘の奈多クラブ今林（瑠）投手。



三回表、ホームランを打った奈多クラブ今林（瑠）選手。



見事なスライディングのレッドサンデーズ八島選手。



四回裏、内野安打で出塁のレッド稲又選手。



左から完投勝利の江口投手、勝利打の荒口捕手、タイムリーを放った壱岐選手と土師選手。

## 第12週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第12週、7月19日は4試合が行われました。

青松園Aの雁ノ巣ライナーズ対ソルトベ이스ターズ戦は、1敗で首位を伺うライナーズと今田未勝利のソルトの差が顕著に表れる結果となった。ライナーズは14安打で毎回得点の11点を奪うと、投げては有馬投手がソルト打線を散発4安打の完封で抑え、11-0で勝利。この試合、ライナーズ久保田選手が3本の二塁打を放ち、二塁打部門トップ（4本）に立った。

青松園Bの三苦ホーネッツ対奈多サンデーズ戦は、昨年のプレーオフの雪辱を果たしたいホーネッツ。この試合ホーネッツ二番稲葉選手が3打数3安打1HR1打点、五番今田選手が先制タイムリーと3ランなど3打数3安打5打点、七番永島選手も3打数3安打三塁打2、二塁打1の1打点の活躍を見せる。三番矢野選手も2安打とこの四人でチーム全安打の11安打を放った。

サンデーズは八番宮口選手が2安打を放ったが、7-3でホーネッツが勝利。

奈多グラウンドの新町パイレーツ対三苦三球会戦は、パイレーツ吉田、三球会吉留両好投手の投げ合いで四回表まで0行進。1-1の同点で迎えた五回裏、三球会七番堺達也選手、八番渡辺選手の同級生コンビが内野安打で出塁して九番船橋選手もヒットで続くと押し出しと犠牲フライで2点を奪う。六回表のパイレーツ打線を三人で抑え1-3で三球会の勝利。この試合は三球会得意の小技を織り交ぜ、少ないチャンスを確実にモノにした三球会らしい試合だった。

雁レク軟式10の奈多クラブ対レッドサンデーズ戦は、昨年開幕戦で2安打完封の大敗を喫したレッドサンデーズが雪辱を期す一戦。レッドは1点を追う四回裏、この日球が走らない今林瑠生投手から5安打を集め、一挙3点を奪い逆転。追いつきたい奈多クラブは五回表、一死一塁から三番今林祐将選手のレフト前をレッド前田左翼手がトンネルして同点に。しかし、勝利に執念を燃やすレッドは二死二塁から六番荒口選手のセンター前ヒットをもたつく間に1点を取り勝ち越し、3-4で勝利。この試合、球が走らず逆転負けを喫した今林瑠生選手は、試合に臨む気力と体調管理の大切さを感じられたらだろうか？

夏の甲子園予選も佳境に差し掛かってきました。

福岡県予選は、準決勝に東海大五、八幡南、福岡大会連覇の掛かる九州国際大付属が最終回大逆転で準決勝進出を決めました。もう一試合は東筑対小倉なので、どちらが勝っても準決勝4チーム中2チームが県立高校ということになりました。

県立高校が出場となれば、1996年（平成8年）の東筑高校以来19年ぶりとなります。

県立高校で甲子園を目指す選手には、励みになる結果を期待してしまいますね。

福岡県の高校偏差値ランキングというサイトがありました。



<http://高校偏差値.net/fukuoka.php>

文武両道を掲げる高校も多く、多くの高校生が汗を流しながらも勉強を頑張っています。

白球に懸ける思いの強さがどこまで強いのか。

思いが強いから勝つ訳ではありませんが、思いの強さはその涙にこそあるのかもしれないね。

高校生のハツラツさ、潔さ、真摯さを見習って、ソフトボールに臨みたいと思います。